

# かわらばん 第1号

発行：小合地域コミュニティ協議会 電話・FAX 0250-25-2299 (小合地区コミュニティセンター)



小合地域の未来をみんなで考えたい!!  
地域の活動「パワーアップワークショップ」開催しました

少子高齢化や人口減少が加速する中で、地域活動の担い手が不足するなど課題が多様化しています。小合地域コミュニティ協議会では、小合地域が今年度の新潟市地域コミュニティ育成事業のモデル地区に選定されたことを受け、持続可能で効果的な課題解決を行う地域づくりを目指し、市民協働課やNPOと共に活動の見直しを進めています。「かわらばん」ではモデル事業の進捗をお伝えしていきます。



第1回「パワーアップ、ワークショップ」には約50人の地域の方々が集結  
(9月28日 小合地区コミセンにて)

### 地域住民が本当に望む活動か検証

日頃から地域活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。小合コミ協ほどたくさんのイベントや事業に取り組んでいるところはそうないのではないのでしょうか。コミ協まつりやチューリップの球根植えなど、これまで様々なかたちで地域に還元してきましたが、しかし、本当に地域住民が望んでいることなのか、役員の独りよがりになっていないかとふと立ち止まりました。

折しも新潟市から地域育成事業のモデル地区募集があったことから、ここで手を挙げて応募し、専門家と一緒に地域の実情やニーズを分析してみないかと役員の考えが一致しました。行事の質と量を考えて、本当に地域住民が望む事業は何か、考えてみたいと思います。

第1回のワークショップには町内会長や自治会役員、学校関係者、企業経営者など約50名にお集まりいただき、人口データなどから小合地域の現状と将来を探りました。10月から11月にかけては中学生以上の全住民を対象にした住民アンケートを行いました。結果をふまえ、新年度以降の活動に活かしたいと思います。地域のみなさまにはアンケートの配布回収など、ご苦労をおかけしておりますが、小合の10年、20年先を展望していきたいと考えますので何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

たくさんの行事を  
この先、同じように  
できるのか...



小合地域  
コミュニティ協議会  
阿部 繁 会長

### 地域コミュニティ育成事業

小合地域  
コミュニティ協議会  
モデル事業の  
実施内容と  
進め方



人口データ(地域  
カルテ&国政調査)から  
地域の現状と予測される  
将来の姿を知る

#### 第1回ワークショップ

予測される将来に向けて、  
どんな活動に力を入れるか  
など、今後の活動の方向  
性を探ります。

中学生以上  
全住民アンケートの  
実施

地域住民のニーズを  
把握します。

既存活動の実態を  
洗い出と評価

今までの活動を  
見直します。

#### 第2回ワークショップ

アンケート結果報告&  
コミ協2020年度活動計画発表

活動計画や  
実施体制の  
見直し案  
づくり



レポート

地域の活動  
「パワーアップ」  
ワークショップ  
— 第1回 —

## 人口データなどから小合地域の現在と予測される将来の姿を知ろう

これからの地域を支えるためには、どんな取り組みや体制づくりが必要なのでしょうか。まずは小合地域の状況をしっかりと把握しようと、9月28日(土)小合地区コミュニティセンターにて、人口データなどから地域を捉えるワークショップが開催されました。尚、県地域振興局もこの事業に協働で取り組むと紹介がありました。

### 1 NPO法人まちづくり学校による将来予測の解説

2016年の小合地区の高齢者率は35.4%で秋葉区内トップ！  
約20年後の新潟市全体の平均値とほぼ同じ！

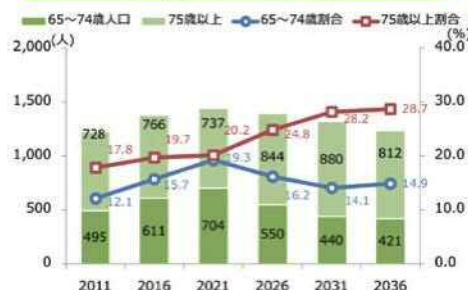
新潟市内での  
中学校区では  
高齢者率  
第3位！



- ・人口はどの地域でも減っていく。
- ・人口構成の変化に注目しよう。15～64歳の生産世帯が減り、後期高齢者が増える。
- ・人口が少なくても安心して暮らせる地域であることが大切。変化に応じた活動へ転換を！

(新潟市H.P.地域カルテ 小合中学校区より)

#### 高齢者人口の推移



2021年から支える世帯<支えられる世帯の差が大きくなる

#### 年少人口の推移



0~14歳人口は2011年から2021年までにマイナス71人。小学校の約2学級分減。2036年にはほぼ半減。

### 2 グループワーク「わがまちの将来の姿を知る」 高齢者率×18歳未満同居世帯率の散布図づくり

小合中学校区ほか2地区の町名ごとの、65歳以上高齢者率(横軸)と18歳未満の子どもと一緒に住む世帯率(縦軸)の数値が合わさるポイントにシールを貼り、散布図グラフを作成。わがまちの実態をつかみ、将来予測から取り組みの方向性を探りました。



分かったことは…?

今はまだ世帯で高齢者を支えられる状況。今後は支えられる側が増え、家族内で支えられない…?

地域の支え合いの仕組みづくりが必要?

### 3 意見交換

地域への愛着、漠然とした将来への不安、ワークショップでの気づきなど、さまざまな思いを話しました。



将来的には強いつながりが必要。今後の課題は何かあるが、簡単な解決策はない。

#### 参加者のふりかえり(抜粋・要約)

学んだこと・良かったこと・残念だったことなど

小合中学校区の高齢者率が市内3番目と高いこと。

小合地区の人口減少・高齢化率が高いことをあらためて認識した。

支える側から支えられる側になる前に、元気で健康で生活できるようにしていく必要がある。

今後の課題がたくさんあるが、簡単な解決策はない。

世代や役割を超えて、同じ目線で話し合えたことが有意義でした。20~40代にもっと参加を呼びかけていたけると良かったな。

全体的に出席者が高齢。30年後、60年後の話をしてもらった。高齢化、少子化の問題を言っても何かできるかなあ…。

みんなで「見える化」していく機会の増加を！良いアイデア、情報交換をしていく場の増加を！各世代に向け、分かりやすい・見やすい情報提供！

次回は  
2020年1月頃  
発行予定